



やまぐち 会報

一貫野の藤（山口市）



金融機関担当者セミナー



2024県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち



CONTENTS



No.145-2024

5

金融機関担当者向けセミナー

広報部理事 阿川 哲雄 1

新人研修会受講報告

岩国支部 田村 武久 2

周南支部 徳原 隆之 2

下関支部 諏訪 吉徳 2

支部だより

令和5年度第1回山口支部研修会の報告

山口支部企画委員 大森 淳一 4

「表示登記の日」無料相談会報告

各支部無料相談会開催場所・相談件数

柳井会場 岩国支部理事 高松 孝一 6

周南会場 周南支部 徳原 隆之 7

防府会場 防府支部副支部長 越智 隆次 8

山口会場 山口支部 青木 正治 9

萩会場 萩支部 片山修一郎 9

宇部会場 宇部支部副支部長 村田 淳 10

下関会場 下関支部企画委員 中藤 敏志 11

2024県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐちの報告

広報部理事 阿川 哲雄 12

下関工科高等学校出前授業の報告

下関支部理事 阿部 隆昌 13

事務所紹介

岩国支部 田村 直久 14

周南支部 西田 泰則 17

山口青調会の活動

山口青調会会長 荒川 猛 20

事務局だより

広報部からのお知らせ

金融機関担当者向けセミナー

広報部理事 阿川哲雄

1. 日 時：令和6年2月16日（金）
16：00～17：15
会 場：山口銀行 萩支店
銀行参加者：7名
2. 日 時：令和6年2月21日（水）
16：00～17：10
会 場：萩山口信用金庫 本店（山
口市）
銀行参加者：24名

山口会としては昨年度に続き、2度目の金融機関向けセミナーでした。昨年度の広報部が開拓したセミナーのノウハウ、パワーポイントなどの資料を活かしながら、今年風にアレンジしました。古江広報部担当副会長が事前に会場を下見したりし、今年の広報部もリハーサルなど準備に余念がなく表現方法にも注意し、両日、狙った着地点まで、ほぼ時間どおりにまとめることができました。講師については山口銀行萩支店を大下広報部理事が担当し、萩山口信用金庫本店を荒川広報部長が担当しました。内容は、司法書士と土地家屋調査士との業務の違い、登記できる建物・できない建物、建築基準法と不動産登記法との床面積の算出方法の違い、主である建物と附属建物として登記できるケース・できないケース、土地の地目、土地分筆登記などについてでした。受講者からはセミナーの内容を他支店へ中継しますという方もおられました。我々の業務では、個々の事件ごとに判断が難しいことがよくあるので、受け手としても一度の説明だけでは腑に落ちにくいものですが、今回は積極的に質問する方や、終了後も「地面に固定されなくて土台の上に建物を

乗せた程度の場合、建物の定着性はあると判断できますか。」「登記申請前に聞いた地番と登記完了後の地番とでは違っていた。これはなぜ起こったのですか。」など質問してこられる方がいらっしゃいました。非常に参加者の意欲を感じました。

大手金融機関の2社に土地家屋調査士の業務を知って頂き、他の関連他土業との違いをアピールする事ができたと思います。今後は土地家屋調査士業務と深く関係性のある金融機関や不動産関連業種へのセミナーを提案し、セミナーを通じて土地家屋調査士業務を広く知ってもらう活動を続けていきたいと思っています。最後に快くセミナーの呼びかけに応じて頂いた山口銀行萩支店様、萩山口信用金庫本店様に深く感謝申し上げます。



新人研修会 受講報告

日調連主催の「令和5年度土地家屋調査士新人研修」は、令和6年2月18日（日）・19日（月）の両日、大阪府の「ホテルクラシア大阪ベイ」にて、全国から新人土地家屋調査士が集合する形式で実施されました。山口会から出席された3名の受講者が感想を寄せて下さったので紹介いたします。

岩国支部 田村武久

1泊2日での大阪開催の新人研修に参加してまいりました。研修内容については、職責と倫理、報酬の考え方、懲戒処分等多岐にわたり、土地家屋調査士として、今後の業務を行っていく上で大変ためになるものばかりでした。

また、グループ討論では、他県の土地家屋調査士の方との色々な討論により、それぞれの地域性もあり、様々な考え方を聞くことができ、大変興味深く、勉強になりました。

夜には懇親会もあり、グループ討論のメンバーごとにテーブルが決まっていたので、他のグループの方とはあまり話すことが出来ませんでした。グループのメンバーとは日々の業務の話など意見交換もでき、より懇親を深め、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

土地家屋調査士として今回研修で学んだことを業務に活かし、今後も研修等にも積極的に参加していきたいと思えます。

最後に今回の新人研修の開催にあたり、土地家屋調査士会連合会及び運営に当たられた方に対して、深く御礼を申し上げます。

周南支部 徳原隆之

この度令和5年度土地家屋調査士新人研修を受講し、土地家屋調査士としての業務の取り扱いについて、調査士業務の社会的な重要性を改めて認識いたしました。

開業して間もない立場の私にとって、実務を行う上での要領など学ぶべきことは多々あることを実感したことはもちろん、事故や懲戒などの事例を拝聴し、調査士が担っている職責の重さを知ることができました。

また、業務を受注する上での報酬額の算定について、具体的な実務を例示したグループ討論もあり、各調査士の先生方の意見に触れることができ大変有意義な経験になりました。

この度の新人研修の経験を今後の業務に役立て、先輩方が築いてこられた調査士業務の一翼が担えるよう取り組んでいきたいと思えます。

下関支部 諏訪吉徳

大阪で開催されました新人研修に参加させていただきましたのでご報告させていただきます。

1日目は、午後からの開始予定でしたので、当日の午前中に出発して会場にお昼ごろ到着しました。会場には大ホールに約250名の参加者が全国各地から集まっており、東北や関東地方の方も参加されていました。

講義は、1日目は職責や倫理についての内容が中心で、ビデオ講義の後、8名程度のグループに分かれて課題を討論しました。講義を受けて改めて専門家としての責任を自覚し、これから行う業務についての心構えが少しできたように感じました。特に、依頼者の対応についての依頼内容の適切な把握と依頼

者への説明責任をどの程度果たしていくべきかは今後業務を行うについて参考になりました。

2日目は、午前中に懲戒制度と懲戒処分事例の講義がありました。日頃業務を行う中でどのような事例が懲戒処分の対象になるかという具体的な事例を聞くことができ有意義な講義でした。午後からは、報酬の計算方法についての講義とグループでの討論が行われました。報酬の計算を通して事務所の運営や経費のことまで考えさせられる深い内容の講義でした。

以上、2日にわたっていずれも実践的で内容の深い講義を受けて大変参考になりました。今後の業務を行う中で役に立てていければと思います。

支部だより

令和5年度第1回山口支部研修会の報告

山口支部企画委員 大森淳一

日 時：令和5年12月8日（金）
15時～18時30分
会 場：山口市湯田温泉五丁目5番22号
サンフレッシュ山口・山口勤労者総合福祉センター
出席者：22名（内、萩支部1名、防府支部1名、宇部支部1名）
内 容：第1部 公図内の空白地、あなたならどうする？
講師：山口支部 川口寛司会員

第2部 G空間情報（登記所備付地
図データ）の利用について
講師：株式会社マツキ 松木賢一様
ジーアスコム 川迫正夫様

今回は2部構成で研修を開催しました。第1部は山口支部の川口寛司会員に講師をお願いし、公図内の空白地の調査の事例研修を行いました。境界確認において、公図の空白地にあたってしまうことがあります。非常にやっかいなものです。空白地は国有地なのか山地番なのか飛地なのか慎重に調査を進める必要があります。法務局の公図、和紙公図、土地台帳、地番区域調書などの調査に加えて、住宅地図や空中写真、林班図データ、市役所保管の山林絵図や公図副図、財務局にて聞取りなど、あらゆる調査を行った上で地番を特

定しないといけません。川口会員の実例調査にて、多くの資料や調査方法の紹介を披露いただき、最終的に山地番の飛地に行きつくまでの非常に内容の濃いものとなりました。土地家屋調査士として知らないでは済まされないという川口会員の思いを込めた研修に、大変有意義な時間となりました。この研修のために膨大な資料をご準備いただきました川口会員に感謝いたします。今後の業務に役立てていきたいと思えます。

第2部は株式会社マツキの松木賢一様、ジーアスコムの川迫正夫様を講師にお迎えし、G空間情報の紹介をしていただきました。近年において、土地家屋調査士は様々なデータを駆使することができるよう求められていると思えます。講師の開発したソフトを利用してG空間情報から地図データを取得し、空中写真に落とし込む作業が披露されました。また、パソコンにソフトを入れて実際に手順を体験してみることも行いました。こういったソフトを利用することで、迅速な境界状況の把握や顧客に対してのプレゼンなど質の高い情報提供ができると感じております。どんどん進む情報化社会に遅れないように日々研鑽することが非常に大切なことだと痛感する研修となりました。

研修後は湯田温泉にて忘年会を行い、会員の交流を深める場となりました。



「表示登記の日」 無料相談会報告

「表示登記の日」 無料相談会開催場所・相談件数

日時	場所	件数
3月31日(日) 10:00~14:00	上関町総合文化センター 1階視聴覚室 熊毛郡上関町大字室津904-15	3
4月1日(月) 10:00~15:00	山口地方法務局周南支局 3階会議室 周南市周陽二丁目8-33	7
3月30日(土) 9:00~15:00	サンライフ防府 研修室2号 防府市八王子二丁目8番9号	6
4月1日(月) 9:00~15:00	山口県土地家屋調査士会館 1階ロビー 山口市惣太夫町2番2号	0
4月1日(月) 10:00~15:00	山口地方法務局萩支局 地下会議室 萩市平安古町599番地3	0
3月31日(日) 10:00~15:00	フジグラン宇部 宇部市明神町3丁目1番1号	7
4月1日(月) 9:00~15:00	下関市役所 1階ロビー 下関市南部町1番1号	4
合計		27

柳井会場

岩国支部理事 高松孝一

日 時 令和6年3月31日
10時から15時
場 所 熊毛郡上関町大字室津904-15
上関町総合文化センター
相 談 員 3名
相 談 件 数 3件

これまで柳井地区の柳井市、田布施町、平生町、周防大島町にて相談会を開催してきたが上関町で開催したことはないため、『道の駅上関海峡』隣の上関町総合文化センターでの開催を計画した。

相談件数 3件

- ① 境界トラブル
隣地所有者より建物（倉庫）が越境し

ているといわれた

- ② 14条地図の座標値
測量は自分でできるので座標値を知りたい
- ③ 建物取壊後の地目
建物取壊し後の課税地目はどうなるのか

相続登記の義務化という事もあり相続に絡む相談も予想していたが、相談件数、相談内容は予想に反し上記のとおりであった。何れの相談者も満足して帰られたように感じられた。

上関町での初めての相談会という事もあり上関町各支所にポスターの掲示をお願いしたが、何れの方も町の広報をみてこられていた。



周南会場

周南支部 徳原隆之

日 時 令和6年4月1日（月）
午前10時～午後3時
場 所 山口地方法務局周南支局3階会議室
相談員 4名
相談件数 7件

山口地方法務局周南支局にて、表示登記の日無料相談会を開催しました。

当日は花見日和の天候・気候ともに良好の中、7件のご相談を承りました。

主な相談内容は以下の通りです。

- ・当時の地籍調査の際、立会していないのに境界が決められていた。当該境界は違う位置であると認識している。

回答：地籍調査の後、縦覧期間などが設けられており、結果について不服等があればその期間内に申し出るべきであった旨を説明した。

- ・自己所有の土地に用途不明の排水管があるが、当該管について誰がどのように取り扱うべきか調べてほしい。

回答：排水管などの設置物の取り扱いについては、隣接者や不動産管理業者に用途や設置の経緯などを確認する必要がある、調査士の業務はあくまでも境界の確定を主として取り扱う旨を説明した。

- ・筆界未定地が7筆ある土地の一部の売却をしたい。

回答：売却するには土地の境界を明らかにした上である必要がある、当時の地籍調査の際、何らかの事情があり公図上に筆界線が示されなかったと推察されるものの、境界確定業務は可能である旨を説明した。説明をご理解いただき、お帰りの際、和紙公図を取得されていた。

例年に比べ、多くの方々にご来場いただき不動産登記業務や、相続関連の事柄に対する関心が高くなっていると感じました。今後は調査士業務に関連する法体系や、知識等を今まで以上に意識し身につける姿勢で臨みたいと思います。



防府会場

防府支部副支部長 越智隆次

日 時 令和6年3月30日(土)
午前9時～午後3時
会 場 サンライフ防府2階
相 談 員 午前4名 午後4名
相 談 件 数 6件

防府支部の「表示登記の日」無料相談会は、春らしい好天に恵まれたなかでの開催となりました。

相談内容は以下の通りです。

- ① 相談者に所有権移転予定の叔父名義の土地について、境界調査に必要な手続きや費用について知りたい。
- ② 父の遺言で下関市に農地があることが分かり、土地の名義は亡くなった祖父名義のようだが、相続等どうしたらよいのか教えてほしい。
- ③ 自宅への給水配管や水道メーターが隣接地に存在するので、隣接地の一部をわけてもらうにはどうしたらよいのか教えてほしい。
- ④ 所有する土地について、境界を明確にしたいので、手続きや費用について教えて

ほしい。

- ⑤ 土地上に祖父名義の現存しない建物の登記記録が存在し、土地上に未登記の建物があるが、どのような手続きが必要か教えてほしい。
- ⑥ 土地上に身に覚えのない第三者の建物の登記記録が残存しており、土地上に父親が建てた未登記の建物が存在しているが、それぞれどのような手続きが必要か教えてほしい。

①、③～⑥は各相談員が対応し、②については司法書士の職域に関する内容もあったため、司法書士との兼業者が対応しました。各相談員の的確な対応もあって、各相談者は概ね納得して帰られたようです。

今回は午前5件、午後1件の合計6件の相談という事で、久しぶりに相談者が多い相談会となりました。特に午前中に相談が集中し、相談員全員が対応して受付不在になる時間帯もあったため、次回の「杭の日」相談会では、相談員の人員配置等も工夫したいと思います。



山口会場

山口支部 青木正治

日 時 令和6年4月1日
場 所 山口県土地家屋調査士会館
相 談 員 2名
相談件数 0件

当日は8時40分に、益田支部長、相談員を担当する藤原会員が来られ、ともに看板を設置し会館前で写真撮影をしました。そして9時より15時の予定で相談会を開催しました。

この日から相続登記の義務化が始まったので、相談者が多いと予想しましたが、終日、相談はありませんでした。

相談者が来られなかったのは、山口支部会員の先生がたが日々の業務において親身になって対応されている表れなのかもしれませ

ん。丁度晴れの天気であり、桜の咲いた裏山を眺めて、現場へ行きたいと思いながら、藤原さんの社会勉強の講話に花が咲き、聞き入って時間を過ごしました。



萩会場

萩支部 片山修一郎

日 時 令和6年4月1日
午前10時～午後3時
場 所 山口地方法務局地下1階会議室
相 談 員 午前2名 午後2名
相談件数 0件

僅か10日前は、鉛色の雲が低く垂れ込み憂鬱な気分であったが、桜の花が咲きはじめたとたん、雲はどこかに消え去り、山の青・海の青・空の青・爽やかな風の青・まさに一年の青春が始まった4月1日は表示登記の無料相談日となりました。

会場の設営も、看板設置等毎年の行事で、滞り無く終わりましたが、去年に続き今年も相談票の一枚も書くことのない憂鬱な一日となりました。



宇部会場

宇部支部副支部長 村田 淳

日 時 令和6年3月31日（日曜日）
10：00～15：00
場 所 フジグラン宇部
宇部市明神町3丁目1-1
相談員 午前4名 午後4名 計8名
相談件数 午前4件 午後3件 計7件

桜が開花し始めた晴天の日曜日、宇部市の商業施設・フジグラン宇部、その1階通路に相談会場を設置して8名の会員が「表示登記の日」無料相談会を開催しました。

相談と対応の内容

1. Q：境界杭の復元費用について、法面の木の処理・土砂災害対策について。
A：復元費用についてはおおよその額を提示した。法面の木の枝が隣地にかかる場合は除去した方がよい、また、土砂災害対策については土木業者に相談するようにと回答した。
2. Q：下関市内に位置する土地の調査測量について
A：下関市内で実施される表示登記の日無料相談に行かれることを勧めた。
3. Q：相続登記に関して
A：司法書士に相談することを伝えた。
4. Q：隣地との境界について（法面部分）。
A：境界を特定するために土地家屋調査士事務所に行かれることを勧めた。
5. Q：親族が相続した土地の適正価格を知りたい。
A：固定資産税評価を目安にする方法も

あることを伝えた。

6. Q：未登記建物の相続について
A：課税台帳の名義を変更した上で、建物表題登記申請することを提案した。
7. Q：相続登記に関して
A：司法書士に相談することを伝えた。

今回は7件の相談がありました。相談者の大半は、宇部市の広報で相談会を知って来場した方、または通りがかりに立ち寄った方でした。

すべての相談内容が不動産に係るものであったものの、我々が回答できない相談内容も多くありました。業務に係る回答はもちろん、業務外の相談内容であっても他業種をお教えしたことで、相談者は満足されていたようでした。



下関会場

下関支部企画委員 中藤敏志

日 時	令和6年4月1日（月）午前9時から午後3時まで	
場 所	下関市役所1階ロビー	
相 談 員	午前2名	午後2名
相談件数	午前3件	午後1件

下関支部では4月1日（月）の「表示登記の日」の無料相談会を下関市役所1階ロビーにて行いました。

午前中に相談が3件、午後に1件でした。午前中の相談は3件とも、相続関係の相談で、午後からの1件は未登記建物に関するものでした。

この4月から相続登記の申請の義務化により、相続に関心を持つ方が増えているようで、それに伴い現在未登記の建物の申請や、増築等をした場合の表題部変更登記の申請も増えているようです。

相続登記義務化によってそのような登記が増えることはもちろん、きちんと相続がなされる事によって、土地の所有者の特定が容易になり、立会を行いやすくなるのではないかと期待しています。

コロナも終息しつつあり、無料相談会の相談者も増えて来ていますので、今後も定期的に継続して行いたいと思います。

以上、簡単ではありますが「表示登記の日」無料相談会の報告とさせていただきます。

2024県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐちの報告

広報部理事 阿川哲雄

1. 日時 令和6年2月14日（水）
10：00～15：00
2. 会場 維新大晃アリーナ（維新百年記念公園・スポーツ文化センター）
3. 主催 2024県内進学・仕事魅力発信フェア実行委員会

このフェアは、県内の高校生に、県内の大学や専門学校、さらには仕事や企業の魅力を伝え、本県の魅力を再認識してもらうことにより、県内進学・県内就職を通じた地域産業を支える人材の育成及び地域の活性化を担う若者の県内定着の促進を図ることを目的としたものである。

高校1年生等が進路や適職を発見することができるよう、学校案内、学校・仕事体験、企業紹介などのコーナーを設置（学校案内34校、学校・仕事体験27体験、仕事紹介31職種、企業紹介35社、進路相談2団体）し、県内の公立・私立高校1年生を中心に、約1,800人の参加者を見込んだ。

山口県土地家屋調査士会はそのうち「仕事紹介」コーナーに属し、チラシとしてはその中で一番長い文で紹介してあった。広報部からは午前・午後と、のべ3名で臨んだ。「高

校1年生の学生たちが明確に将来のビジョンを持っているか否か」については疑問ではあったが、職業を決めなければならない時はいつかは来るし、「将来彼らを補助者として雇用する可能性がゼロである」とは言い切れないので、「彼らの職業観」を参考にしようとは私は考えた。トータルステーション・ドローン・ノートパソコンと自身の器材を惜しみなく展示した荒川部長の行動力と熱意と常套フレーズが学生達の心に刺さったようだ・・・友達同士で椅子に座った学生は、各々初々しい反応を示し、概ね元気良かった。

午後の終盤には男子のみならず、女子にも着席して説明を聞いてもらえた。本日も貴重な広報活動の機会となった。

ブース着席者の在籍高校、性別、人数の内訳

午前	下関国際高	男子	4名
	下関商業高	〃	5名
	桜ヶ丘高	〃	4名
午後	山口松風館高	〃	3名
	山口松風館高	女子	2名
	誠英高	男子	7名
	成進高	〃	3名



下関工科高等学校出前授業の報告

下関支部理事 阿部隆昌

毎年恒例の出前授業を、令和6年2月20日（火）13時30分より山口県立下関工科高等学校にて行いました。建設工学科2年生を対象として、下関支部から4名（星本支部長、半野理事、桑田理事、私）と、協力業者の有限会社ソキワーク、有限会社宗正建設で参加しました。

授業の内容は次のとおりです。

- ①「境界をさがせ！～3人の土地家屋調査士たち～」DVD視聴
- ②やってみよう復元測量（トータルステーション、杭ナビ）
- ③ドローンを使用した3次元計測



①は本会よりお借りした動画視聴になります。25分程度の動画ですが、豪雪地帯の測量、東日本大震災後の被災地の測量、またプロレスラーと掛け持ちの土地家屋調査士が出演など、土地家屋調査士の活躍が十分にわかる動画でした。生徒たちは興味を持って視聴しているように見えました。

②は高校の授業では復元測量をしないとのことで、どのようなものか体験していただきました。まずは高校の敷地のそばにある街区基準点を探し出し、街区基準点の説明から始まりました。事前に街区基準点から校内に設置した基準点をもとにトータルステーションを使用し復元測量を体験していただきました。生徒が交代で実機に触って操作し、ミラーを持って歩き回り、雨天でなくて本当に良

かったです。復元点を探す作業は楽しそうで、また機械の自動機能に生徒達が目を輝かせていました。



③は、最新ドローンの紹介と撮影を行いました。機体の安定や撮影画素数の向上と、ますます進化した機体でした。普段目にしない機器に生徒たちは釘付けでした。残念ながらドローンは機材の不調により飛ぶことができませんでした。

毎年実施している出前事業ですが、土地家屋調査士のPRはもちろんのこと、今回の出前授業の準備から本番当日と私自身も学ぶことが沢山ありました。

これからもいろいろな工夫をして出前授業を実施していきたいと思いました。

事務所紹介



岩国支部

田村直久 事務所

岩国市錦見五丁目16番30号

たむらなおひさ
会員氏名 田村直久

Q. 家族構成について教えてください。

私、妻、長男、長女（孫・2人）、二男の計7人家族です。

大変珍しい大家族です。

Q. 事務所のスタッフについて教えてください。

私、長男、他4名です。河内正幸会員は私の同志です。

Q. 事務所の所在地について教えてください。

法務局、裁判所から徒歩7分の国道2号線沿いにあります。岩国市営バスの裁判所停留所の側にあり、非常に便利で業務もしやすいです。

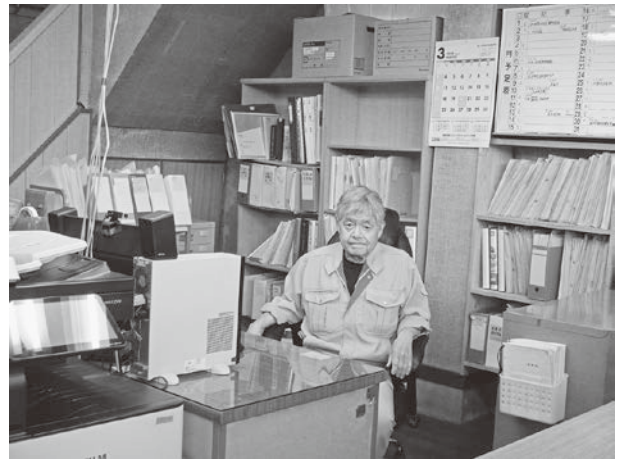
事務所は、父親が買い受けた築60年の建物で、改修等一切せず使い続けており、外装、内装ともボロボロです。しかし、構造は、鉄骨造でしっかりしており重宝しています。

Q. 調査士になったきっかけは？

私は、2代目調査士で、学生時代から、平板測量等調査士業務の一部を教わり、図々しくも

法務局にも出入りし、当時の登記官からも可愛がられ、自然と田村事務所に入所しました。

20代の頃は、司法書士試験に挑戦しておりましたが、調査士業務に興味をもち、30代から調査士試験に変更しました。その後、試験勉強は、苦節十数年、大変な苦勞でした。しかし、この長い期間、司法書士、調査士の勉強したことは、2、3年の挑戦で合格した皆さんと違い、その後の調査士業務に大いに役立っていると思います。真実の気持ちであり、負け惜しみではありません。



事務所外観

Q. 趣味・特技・自慢・(最近ハマっていること) などについて教えてください。

趣味は家庭菜園です。自宅裏に70坪程度の菜園があり、一年を通してすべての野菜を収穫し、近隣の方々、事務所スタッフに提供しています。最近は私が股関節痛、椎間板ヘルニアにより管理機で畑を作る以外できないため、妻に種蒔き、管理、収穫のすべてお任せしているが、休日などに野菜の成長を見ることが楽しみです。

Q. 調査士として、これだけは譲れないポリシーやこだわりはありますか？

岩国地区は、昭和39年から地籍調査が実施され、現在、法務局にすべての区域の地図が備付けられている。昭和55年当時、私は、地籍調査についてまったく理解しておらず、地図は分限図と同様に法務局備付の便利な図面程度の認識でした。

当時、浦井氏、渋瀬氏と知り合い、お二人から調査士業務において地籍調査のことを理解することが如何に重要か、そして、地図の復元測量の方法について教えて頂きました。復元測量は、地籍調査基準点に機械を設置し、復元測量することによって、基準点は、調査士の財産であるとの考えで、浦井氏が組織したトラバース組合に入れて頂き、毎週土曜日に、4等三角点の山に登り、また、地籍調査基準点を探し、これらの点を与点とし、トラバース測量により、国道、県道、市道、橋の欄干等に新たに自分達の基準点を設置しました。

地籍調査実施時期から長い時間が経過し、道路工事他、色々な事由により地籍調査基準点は喪失し、当時の現況構造物（ブロック塀）、赤ペンキも消え、復元測量において基準なる物が無くなった今、14条地図の復元測量において、当時から現在まで、設置し続けた基準点が私の財産です。

この基準点は、市内どこでも存在し、受託した殆どの土地に利用できます。

私の調査士としてのこだわりは、地籍調査が実施された岩国地区において、当時、地籍調査において測った点を復元するに私が設置した基準点から、岩国市役所地籍係の地籍図原図により復元することです。



地籍調査基準点【遠景】



GPS基準点【近景】

Q. 休日の過ごし方を教えてください。

- ①私の部屋で、私のベッドで、私の布団の中で、予約したビデオを見ています。横たわっていると、股関節痛、椎間板ヘルニアの痛みもありません。自分にとっても幸せな時間であり、家族にも嫌われません。
- ②孫と広島方面に買い物に行くことも楽しみですが、お金がかかります。
- ③孫二人は、低学年よりハンドボールのクラブに入っており、高学年になった今、度々試合があり、全試合応援に行きます。これには、多少のお金がかかります。

Q. 使用している光波、測量ソフトなどを教えてください。

・トータルステーション

TrimbleS7 Trimble VISION

SOKKIA SET350RX

※このTSは自動追尾があり、レンズを自動で視準してくれるため、現場作業の効率が良くなり大変便利です。

しかし、歳のせいか機械をすべて信頼することがなかなかできません。

・GNSS

Trimble R8s

・測量関係ソフト

アイサンテクノロジー株式会社

Wingneo INFINITY

株式会社アンソ

コスモスAX for Windows

Q. 最後に

私が調査士として大事にしていることは、自分が作製した地積測量図に責任を持つこと、そして、自分が埋設した境界標は、何年後も同じ位置に復元できることです。具体的な意味合いは色々あると思いますが、この二つの責任が、調査士業務のすべてだと考えています。

最後に、補助者時代から約50年、色々な方のお世話になり、楽しい調査士人生でした。

後輩調査士から「もう、そろそろ」という話も耳にしますが、同志である河内正幸会員も元気で、私も少しばかりの「やる気」も残っているので、残り少ない人生、あと少しともに頑張りたい、頑張ります。

周南支部

西田泰則 事務所

下松市美里町四丁目11番1号



にしだ やすのり
 会員氏名 西田泰則

Q. 家族構成・(事務所のスタッフ)について教えてください。

父母と私の三人家族、一人事務所なのでスタッフはおりません。雇えたらよいのですが、スケールメリットを考える規模ではありませんので、当面一人のままでしょう。

Q. 事務所の所在地について教えてください。

下松は末武平野の南、平田川の右岸に連なる学校用地の周辺は、昔から住宅地が広がっており、私の自宅事務所も、その一角にあります。

Q. 調査士になったきっかけは？

知り合いの司法書士の先生が、調査士の方が報酬単価が高いと教えてくれたのがきっかけ。それまで調査士という仕事さえ知りませんでした。

Q. 趣味・特技・自慢・(最近ハマっていること)などについて教えてください。

溪流釣り、軽登山、その他アウトドア。自然に触れていると、気力が回復します。「遊びをせんとや生まれけむ」です。

Q. 調査士業務の中で一番印象に残っていることは？

町中の立会で、昔の因縁から隣接所有者どうしが口論というか罵り合いを始め、付近の野次馬を集めて騒ぎになったこと。これが独立後初立会です。色々な人がいるわけですが、喧嘩がきっかけで仲良くなったケースもあるので、人付き合いというのはわからないもんです。



自宅事務所外観



事務室は非常に狭い



雨天につきガレージに立ててみた

Q. 座右の銘、好きな言葉、尊敬する人物等について教えてください。

座右の銘というとは違うような気もしますが、書家の習作とかいう古い掛軸の東照公遺訓を、子供の頃に覚えて、いまだに忘れないので、それが近いのかもしれませんが。中身は至極凡庸なんです。好きな言葉は「融通無礙」。尊敬する人物は、両親の他には特にありませんが、昔の人とかご先祖様は大体尊敬すべきものと思っています。

Q. 調査士として、これだけは譲れないポリシーやこだわりはありますか？

調査士としてということではありませんが、①年寄りの話をよく聞く。②時間外に仕事の話をしてしない。③喧嘩しない。

Q. 休日の過ごし方について教えてください。

休日でも仕事していることが多いのですが、時間があれば、ロープワークを練習したり、包丁やナイフを研いで気分転換してます。3月には溪流解禁で、4月中旬からは山菜シーズンですが、どうなることやら。

Q. 将来のビジョンについて教えてください。

明確なものはありませんが、今は成り行きから土地開発にウェイトが傾いていて、測量、設計、各種許可から登記まで全部ひとりで対応しており、このままでは健康を損ねそうなので、もう少し余裕をもってじっくり仕事にとりくみたいと思う今日このごろ。

Q. 好きな食べ物、嫌いな食べ物

特に好きな食べ物は、溪魚や鮎の塩焼き、三つ葉の吸い物、山菜の混ぜご飯、蕎麦、胡椒飯、漬物なら生柴、紫蘇の穂。クサヤや鮎寿しも平気で食べますし、口にできないほど嫌いなもの

はないと思います。ファーストフード店は、基本的に入りません。

Q. これからの調査士に望むことはありますか？

専門知に胡座をかかず、自身の才能を十分活かして、多様なスキルを身に付けていくことか
と思います。

Q. 広報部への要望などありますか？

要望はありませんが、よくやっておられると思って感心しています。

Q. 使用している光波、測量ソフト等を教えてください。又、その良いところは？

使用するTSは、ソキアの先手からBTで無線回頭させる機械。ひとりで測量できるのは有り難い
のですが、データコレクターが頻繁にフリーズするので困っています。CADは、設計から登
記まで福井コンピュータですが、軽快なのでRootPro CADも使います。

Q. 現場作業や事務作業において効率が上がる特殊な道具類があれば教えてください。

大したものではありませんが、標識の打設時に、釘メをよく使います。ピンを打ち込む際の
傷防止だけでなく、コンクリートや石の凹凸をちょこちょこっと均すのにも便利なので、石頭
と一緒に持ち歩いてます。



事務室前。去年総会にいらした先生のひいおじいさんの揮毫

山口青調会の活動

第18回青年土地家屋調査士会全国大会in TOKYOの報告

山口青調会会長 荒川 猛

日 時：2024年2月24日(土)～
2月25日(日)
研修会会場：ベルサール新宿グランドコン
ファレンスセンター
懇親会会場：ベニーレベニーレ新宿

青調会の全国大会に参加してきました！前回は令和3年に広島でオンライン開催されましたが、コロナ禍が終息し、今回の対面での全国大会開催は久しぶりとのこと。総勢198名の熱い同志が東京に集まりました。山口会からは立山会員、篠田会員、星本会員、吉村会員、私の5名が参加しました。

(行きの飛行機より撮影)



私にとっては初めての全国大会参加だったので、全国の同志に会えるワクワク感と、自分のレベルで話についていけるか心配でソワソワ感が入り混じっていました。会場に入ると、スポンサーが並び、お菓子が山積みになっていました。うまい棒やチュッパチャプスもあり各会からのお土産もたくさんありました。入口付近のブースで一番盛り上がっていたのは境界標メーカーのガチャでした。十数

種類の境界標のミニチュアキーホルダーと当たりのミニチュアキーホルダーが入っており、1回500円で購入可能。みんなで記念に1個ずつ購入し、私はなんと当たりを引き、クオカードのおまけもいただきました。ラッキー！また、全国大会の参加特典として、折りたたみカラフルトートバッグと折りたためるクリップボードをもらいました。クリップボードはA3用紙が挟めるタイプで、現場で役立つ一品です。トートバッグもコンパクトに折りたため、素材もしっかりしていて見た目もカッコいい！さすが東京会！



研修会は3つのテーマがパネルディスカッション形式で進行されました。各テーマに登壇者が選ばれ、「AhaSlides」というアプリを使って討論が行われました。この「AhaSlides」の機能は画期的で、参加者は意見を傍聴するだけでなく、参加者がスマホで入力した文章が次々と舞台の巨大スクリーンに映し出され、リアルタイムで討論に反映されました。しかもオンラインで参加している人も意見が書けるという事もあり大いに研修会が盛り上がりました。これは全員参加型の大会にした

いという実行委員会の思いが反映されています。今回の大会で設定されたテーマは問題提起型で、いつもの業務研修のように業務に直接関わるものではなく、調査士として未来を見据えたパネルディスカッションでした。テーマ的に愚痴大会になりそうな想像もありましたが、さすが青年調査士、建設的な議論が行われました。特にマインドの部分で刺激を受け、さまざまな考えに触れられて興味深かったです。

第1テーマは14条地図の作成についてでした。登壇者たちはそれぞれ14条地図作成業務に熱い想いを持っており、2月に「一筆地測量マニュアル」の研修が行われ、長期間の業務で我流になりがちなのが話題になったとのこと。これは自分の業務を見直す良い機会となり、新人への業務ノウハウの伝達にも役立つとのこと。私のいる岩国市では14条地図の作成がほぼ終わっており、実務については想像の世界ですが、登壇者の意見に共感する部分が多かったです。現状の悩みとしては報酬と人員確保が大きな問題だと感じました。また、効率化を図ることで報酬アップを図る提案もありました。大量のデータを扱うので、効率化が進めば報酬も悪くないとのことでした。長野会ではタブレットを活用しており、署名もタブレットで行っているそうです。

第2のテーマは「大物価高騰時代型来！調査士の報酬はこのままで良いのか？」と題して報酬問題について議論されました。東京会から登壇した開業して2年の方は、報酬について悩んでいると語りました。開業直後は適切な報酬が分からず、報酬を安くしないと仕事を取れない現状に悩んでいるとのこと。

ここで、スギちゃん（大阪会杉村会員）とタケちゃん（神奈川会竹前会員）が登場し、アドバイスをくれることに。2人の漫才のような軽妙なトークで、経験談と報酬に対する考えを伝えてくれました。報酬を上げていこうという考えは共通していましたが、その他の部分では違いがありました。例えば、スギちゃんは開業当初に飛び込み営業をたくさんしましたが、タケちゃんは全くせず、紹介のみで仕事を得ていました。タケちゃんが元不動産屋だったことが背景にあり、会場から「ずるい！」との声もありましたが、使えるものは使うべきだという結論に。また、スギちゃんがどんな飛び込み営業をしたのか、単価を上げるために事務所を移転した経験も興味深かったです。移転先は凄腕の弁護士などがいる地域で、そこからの相談で高単価の仕事を得るという話でした。高額相談者が多いため、100万円と言っても通用すると言います。令和4年度に連合会から出た報酬額計算ソフトについても話題になりました。これを使うと報酬額が高く出るというコメントがありましたが、それは適切な報酬であり、日額やサイクルタイムに基づく正当な計算であるとの意見もありました。そして「AhaSlides」を使った会場のアンケートでは、土地測量の報酬額を30～60万円の間で設定している人が多かったです。2020年の登記件数を全国の調査士の数で割ると、1人当たり土地が約100件、建物が約70件になるというデータもあります。登記件数のみで計算しているため、実際は登記に至らないものも含め、もっと多いでしょうか。また、会場のコメントでは、地価の低い地域では高い報酬を設定しにくいという意見もありました。120万円の土地に100万円もかけられないとの意見です。調査士の仕事自体は変わらないため、その大変さを説明

する能力が必要ではないかという話もありました。山口でも身近な問題だと感じます。まとめとしては、東京に引っ越し、ラグビーをやれということになりました。

第3のテーマは「もう人がいません・・・本気で考えよう若手&開業サポート」と題して人手不足の問題について議論されました。このテーマで私も山口会の広報部長をさせていただいている手前、人手不足解消のための活動をしている経験があったので、恥ずかしながら登壇者として志願し、みなさんの前で発表する機会を頂きました。土地家屋調査士試験の受験者の減少、調査士事務所への就職希望者の少なさは、青調会員の減少、若手の少なさに直結しています。これらの課題に対し、各会や個人で行っている活動、成果、今後の活動について意見交換しました。

まず、私の方から開業サポートの仕組みを充実させるべきだという意見を述べました。そもそも土地家屋調査士試験を突破した後のフォローが、他士業に比べるとサポートが少ないと考えています。インターンシップ等の制度として、新人が業務できるまで育てるという期間が調査士業にはありません。これでは高校生や、大学生にいくら調査士業務はうまくやれば儲かる仕事だよと説明しても、うまくいかなかった時は？と首を傾げられます。私から「AhaSlides」を使って会場アンケートしたところ、6割が新規開業と回答し、4割が世襲と回答しました。新規開業者はわからないことが多く、ネットで検索しても情報が少ない、書籍も少ないなどの悩みがあり、これでは土地家屋調査士を目指す人が減るのは当然だという意見です。難関の試験を突破した後、開業すると多額のお金がかかり、業務も分からないことが多い上、仕事が取れる

かどうかは本人の努力と運次第、新人はすぐに報酬も上げられないという現状があります。また業界の閉鎖的な雰囲気から「そんな簡単なことを聞くな」という風潮もあり、サポートが少ないと思います。その改善とサポートの仕組みの整備が必要だと語りました。

大阪では新入会員が6人いましたが、そのうち5人が法人だったそうです。開業の大変さがここに表れているかもしれません。各会の活動としては、山口青調会同様に「何でも相談室」の設置などが挙げられました。今後も青調会でサポート体制を充実させていく事が人手不足解消の鍵になると思います。

今回のテーマでは、人が足りないとの議題でしたが、逆に人は足りているのではないかという逆の意見もありました。調査士の減少に合わせ、人口も減っているため登記件数も減り、バランスが取れるのではという意見です。また、国家資格はそう簡単に無くならないため、制度に守られて仕事ができるというメリットが大きいという意見もありました。これに対して、地域によって違うが「人手が足りていない」というマインドを持つことが業界の発展につながるという意見もありました。秋田や広島では調査士の過労死というつらい出来事もあり、報酬の改善や業界の発展が重要だと語られました。



X (旧ツイッター) を使った活動も紹介さ

れ、「クーリッシュさいとうさん」がアイス菓子のクーリッシュをしゃぶる投稿し、調査士を目指す人の界隈でバズったという話もありました。この活動では本職だけでなく、補助者や受験者とも交流を持ち、業務上の相談や手伝いの環境ができ、全国に仲間が増えたといいます。

パネルディスカッションでは「若手がいな、何十年後に仲間がいなくなるのでは」という話題の際、「24歳の高知会の者です。50年後に仲間がいなかったら寂しい」というコメントがありました。20代の調査士が将来に夢や希望や仲間が持てるように土地家屋調査士業界を盛り上げていきたいと感じました。

そしてここからが本番！！会場をベニーレベニーレ新宿に移し、懇親会が行われました。調査士には自由人が多いと言われますが、乾杯前にすでに皆が飲み始めており、知らないうちに始まっていました。知らない人と話しましょうということで、アルコール片手に名刺交換が行われ、私もかなり交換したと思います。会場には各会からの差し入れとしてたくさんのお酒が並んでおり、山口会からは獺祭を提供させて頂きました。好評につきすべてのお酒が完飲されたとのこと。ステージでは各会の代表挨拶や催しがあり、ピンク・レディー（ケイちゃんミーちゃん？）が登場してUFOを披露したり、ハカ（ニュージーランドのマオリ族の踊り）の披露があつたりしました。皆さんが思い思いに土地家屋調査士の将来の事を真剣に考えて語り、でも悪ふざけもあって、エネルギッシュな懇親会は最高でした。そして次回全国大会開催地は北海道と発表され、みんな北海道で再会することを誓って2次会へと各々が移動しました。

本当に全国には素晴らしい青年土地家屋調査士の仲間がいる事を感じることができました。東京青年土地家屋調査士会の皆様、全国大会実行委員の皆様、本当にありがとうございました。また次回の北海道を楽しみにしています！

土地家屋調査士 ガイダンス

開催決定

土地家屋調査士を目指すあなたをサポートします

「土地家屋調査士ってどんな資格?」「土地家屋調査士ってどんな人になるの?」
「試験に合格したあと、どうやって仕事をしていくの?」そんな疑問に、直接、
土地家屋調査士がお答えします!

すでに試験勉強中の方はもちろん、会社員、学生、主婦の方で国家資格に興味がある方・・・どなたでもお気軽にお申し込み下さい。

主催 山口県土地家屋調査士会

日時 2024年8月4日(日) 13:00~15:00

(12:30 受付開始) ※参加費無料

場所 山口県土地家屋調査士会館

山口市惣太夫町2番2号 JR山口駅構内

内容 土地家屋調査士業務について

土地家屋調査士試験についての経験談・開業後のサポート

個別面談(希望者)

参加希望者は当会ホームページ、電話、または下記FAXによりお申し込み下さい。

申込先 山口県土地家屋調査士会 TEL:083-922-5975 FAX:083-925-8552

締切 2024年7月22日(月) 必着



当会 HP

土地家屋調査士ガイダンス申込書

フリガナ		お電話番号
お名前		- -
ご住所	〒	

天候等の影響で急遽開催を中止する場合ホームページにてお知らせいたします。
ご来場の際には必ず事前に開催の有無を当会ホームページにてご確認ください。

事務局だより

会員異動状況

1. 会員入会状況

	ふりがな 氏名 (生年月日)	入会 年月日	事務所	TEL	FAX
	なかみち あつひろ 中道 敦宏 (S56.11.19)	R6.1.10	〒747-0037 防府市八王子一丁目16番21号	(0835) 28-2700	(0835) 28-2701

◆新入会員よりひとこと

中道敦宏 会員

令和4年度試験の合格を機に広島県から実家のある防府市に帰郷し、本年1月に登録入会させていただきました。これまでは不動産会社で中古売買取引、仲介店舗運営などをしておりました。

調査士業務の経験が少なく至らぬ点多々あるかと存じます。先輩の皆様、ご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願いいたします。

2. 会員退会状況

支 部	地 区	氏 名	退会年月日	備 考
山 口	山 口	荒木 進	R6.4.1	所属会変更 (鹿児島会へ)

3. 会員数

令和6年4月1日現在会員数

会員数 202 法人数 4

4. TEL・FAX等変更

支 部	氏 名	変 更 事 項	変 更 後
下 関	長崎 有喜	メールアドレス	ngskey959@gmail.com

補助者のみなさま、会員のご家族のみなさま

東京法経学院の土地家屋調査士講座がお安く受講できます！

山口県土地家屋調査士会は、日本土地家屋調査士会連合会中国ブロック協議会を通じ、東京法経学院と協定を結んでおります。この協定は会が推薦する方は、割引が適用された受講料で東京法経学院の講座が受講できるというものです。

補助者のみなさまや会員のご家族の皆様にも、ぜひこの制度を利用して土地家屋調査士を目指していただきたいと思っております。

割引後の受講料一覧は事務局にございます。また受講を希望される方は、会より推薦書を発行しますので、会員を通じて事務局までお申し出下さい。

なお、当会会員の方で、他士業の資格の講座を受ける際にも割引が適用される可能性がありますので、事務局までお申し出下さい。



会務報告

開催日	会 務	場 所
1月9日(火)	法務局への新年挨拶 正副会長会議	山口地方法務局 調査士会館
1月17・18日(水・木)	全国会長会議	東京都
1月19日(金)	第2回広報部会	調査士会館
	第8回業務部会	調査士会館
	第4回理事会	山 口 市
	新年互礼会	山 口 市
1月25日(木)	登録証交付式	調査士会館
2月1日(木)	日調連全国広報担当者向けセミナー(第1回)	(電子会議)
2月2日(金)	社会保険労務士制度創設55周年記念式典	山 口 市
	山陽小野田市生活安全課との協議	調査士会館
2月6日(火)	山口法律関連士業ネットワーク理事会	下 関 市
2月7日(水)	境界問題相談所	山口地方法務局 下 関 支 局
2月9日(金)	筆界特定制度と土地家屋調査士会ADRとの連携についての協議会	調査士会館
	第3回境界問題解決支援センター運営委員会	調査士会館
2月10・11日(土・日)	土地家屋調査士会九州ブロック協議会主催ADR研修会	鹿 児 島 県
2月13日(火)	第1回統一システム選考委員会	(電子会議)
2月14日(水)	2024県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち	山 口 市
2月15日(木)	日調連全国広報担当者向けセミナー(第2回)	(電子会議)
	法務局との協議	山口地方法務局
	第4回総務部会	調査士会館
2月16日(金)	金融機関担当者向けセミナー(山口銀行萩支店)	萩 市
2月18・19日(日・月)	令和5年度土地家屋調査士新人研修(大阪会場)	大 阪 府
2月20日(火)	出前授業(下関工科高等学校)	下 関 市
2月21日(水)	第3回広報部会	調査士会館
	金融機関担当者向けセミナー(萩山口信用金庫本店)	山 口 市
2月27日(火)	第2回財産管理人支援センター運営委員会	調査士会館
3月1日(金)	中国ブロック協議会役員会議	岡 山 県
3月6日(水)	土地家屋調査士試験合格証書交付式	山口地方法務局
3月11日(月)	第2回統一システム選考委員会	(電子会議)
3月15日(金)	第9回業務部会	調査士会館
	登記基準点測量に関する研修会	(ウェブ研修)
3月21日(木)	第1回IT準備委員会	調査士会館
	山陽小野田市生活安全課との協議	調査士会館
3月30日(土)	表示登記の日無料相談会	防 府 会 場
3月31日(日)	表示登記の日無料相談会	県下2会場 (上関町、宇部市)
4月1日(月)	表示登記の日無料相談会	県下4会場 (周南市・山口市・萩市・下関市)
4月3日(水)	決算監査会計書類確認作業	調査士会館
4月9日(火)	令和5年度決算監査	調査士会館
	第1回財務部会	調査士会館
4月10日(水)	境界問題相談所	山口地方法務局
4月11日(木)	山口法律関連士業ネットワーク監査会	下 関 市
4月16日(火)	法務局地図作成事業の次期地図整備計画の策定に向けた基本方針に関する説明会	(電子会議)
4月17日(水)	会報編集会議	調査士会館
	第1回常任理事会	調査士会館
4月22日(月)	第1回統一システム選考委員会	(電子会議)
4月23日(火)	山口法律関連士業ネットワーク理事会	山 口 市
4月24日(水)	第1回業務部会	調査士会館
4月25日(木)	第1回理事会	調査士会館
4月26日(金)	岩国支部総会	岩 国 市
4月27日(土)	防府支部総会	防 府 市

土地家屋調査士オリジナルウェアを ご利用下さい！

鹿児島会が作製した、土地家屋調査士オリジナルウェアをぜひ活用して下さい。

「土地家屋調査士」とスタイリッシュなロゴが入ったポロシャツや作業着は、立会の際など土地家屋調査士であることが分かりやすいと好評です。

カタログ、注文票は販売元の「株式会社ワーカホリック」のホームページに掲載されています。ぜひご利用下さい。

(購入に伴う助成金は令和5年度末をもって終了いたしました)

ワーカホリック 土地家屋調査士ウェア

検索



◆ワーカホリックホームページURL◆

<http://www.workaholic.co.jp/chosashi-wear/order.html>

広報部より

編集後記

広報部では会報誌の編集、出前授業、金融機関担当者セミナー、県内進学仕事魅力発信フェアへの参加、無料相談会等様々な広報活動を行っております。

様々な活動を通じ、広く一般の方々に土地家屋調査士の仕事を知っていただけるよう努めておりますので、今後とも広報活動への御協力をお願いいたします。

この後記を執筆中の今は、ゴールデンウィーク中で事務所にて仕事の整理をしています。外を見ると道路は車の渋滞。駐車場は満車の看板。観光地入口にある駐車場の傍に事務所がありますが、車と人の多さに少し驚いております。何はともあれ皆の活動が活発になり嬉しく思います。

(広報担当副会長 古江直樹)

発行 山口県土地家屋調査士会
〒753-0042 山口市惣太夫町2番2号
電話 (083) 922-5975
FAX (083) 925-8552
ホームページ <https://www.chousashi.net/>
Eメール yamatyo@chousashi.net

発行者 山口県土地家屋調査士会
会 長 乗川 慎二
広報担当副会長 古江 直樹
広報部長 荒川 猛
理 事 大下 竜司
〃 阿川 哲雄

印刷所 大村印刷(株)



山口県土地家屋調査士会

〒753-0042 山口県山口市惣太夫町2番2号
TEL083-922-5975 FAX083-925-8552
ホームページ<https://www.chousashi.net/>
Eメールyamatyo@chousashi.net